

令和6年度 アンケート結果から

令和7年2月 天王小学校

【保護者】

設 問	あてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
問1 お子さんは、楽しく学校で生活をしている。	49.8%	45.2%	3.9%	1.1%
問2 お子さんは、あいさつや正しい言葉づかいができ、思いやり、感謝の心などが育ってきている。	28.0%	60.9%	10.4%	0.7%
問3 お子さんは、友達となかよく生活をしている。	50.7%	43.8%	5.0%	0.5%
問4 お子さんは、授業や家庭学習に真剣に取り組み、基礎学力が身についている。	27.3%	54.4%	15.3%	3.0%
問5 お子さんは、病気やけがをしないように気をつけて生活している。	35.0%	54.4%	9.5%	1.1%
問6 お子さんの学級は、落ち着いており、発言しやすい雰囲気ができている。	26.6%	58.6%	12.8%	2.0%
問7 お子さんの学級は、よく分かる授業をしている。	31.9%	61.7%	5.6%	0.8%
問8 学校は相手を思いやるやさしさ等の道徳性を培い、命を大切にすることを育てている。	32.6%	61.0%	5.4%	0.9%
問9 学校は、子どもたちの安全や健康に十分な配慮がなされている。	38.2%	57.0%	4.1%	0.7%
問10 学校は、通信やホームページなどで学校の様子をよく知らせている。	31.9%	55.5%	10.8%	1.8%

【児童】

設 問	あてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
問1 学校は楽しいですか。	56.9%	37.7%	3.6%	1.8%
問2 授業はよくわかりますか。	44.3%	47.4%	7.7%	0.6%
問3 授業中に進んで自分の考えを発表することができましたか。	35.2%	42.9%	18.9%	3.0%
問4 あなたは時間を守ったり、きまりを守ったりして生活していますか。	49.8%	44.4%	5.1%	0.7%
問5 友達と仲よく生活していますか。	70.0%	26.7%	2.7%	0.6%
問6 病気やけがをしないように気を付けて生活していますか。	62.9%	29.1%	5.6%	2.4%
問7 「おはようございます」「ありがとう」などその場にあったあいさつができていますか。	55.0%	33.9%	9.5%	1.6%
問8 係や当番の活動に進んで取り組んでいますか。	68.9%	27.0%	3.7%	0.4%
問9 トイレのスリッパや下駄箱のくつをそろえるなど、身の回りの整頓をしていますか。	50.3%	38.6%	9.2%	1.9%

R6 天王小学校「本年度の重点努力目標」に照らして考察します

「重点努力目標」

- I すべての子どもに学ぶ楽しさを届ける。
- II あいさつとあたたかな言葉があふれる学校をめざす。
- III 基盤となる安心・安全・健康を大切にする。
- IV 地域・家庭に積極的に情報を発信し、連携を強化する。
- V 教師の働き方を改善し、より生き生きとした先生を増やす。

I すべての子どもに学ぶ楽しさを届ける について

(以下%表示は「あてはまる」「まああてはまる」の合計)

- 1. 【児童】 ①学校は楽しいですか。94.6%
【保護者】 ①おさんは楽しく学校で生活している。95.0%
- 2. 【児童】 ②授業はよく分かりますか。91.7%
【保護者】 ⑦おさんの学級は、よく分かる授業をしている。93.6%
- 3. 【児童】 ③授業中に進んで自分の考えを発表することができましたか。78.1%
【保護者】 ⑥おさんの学級は、落ち着いており、発言しやすい雰囲気ができている。85.2%
④おさんは、授業や家庭学習に真剣に取り組み、基礎学力が身についている。81.7%

<考察>

学校を楽しんでいる子が多く、子どもに学ぶ楽しさを届けるという土台については、しっかりできていることが分かる。中でも「とても」と感じている子の割合は、1年生が一番高く、学年が上がるにつれて下がっていく。高学年になるにしたがって、単純に「楽しい」と思う感覚が薄れている。

授業に対してもがんばろうとする子が多く、一生懸命に取り組み、楽しめている。その姿は保護者にも伝わっている。しかし、実際には、自分の考えを伝えることに抵抗があり、自信のない子が多い。基礎学力が身に付いていないと感じている保護者の割合は他の項目に比べて多いが、昨年度に比べると、27%増のため、日々の先生方の工夫と努力が伝わっている。

今後も日々の授業を大切にし、学年の発達段階や子どもの実態に合わせた授業の流れを考えていく。また、天王小スタンダードの振り返りを行うことで、どの教師も同じように授業を進めていくことができ、子どもたちも安心して授業が受けられるようにしたい。

休み時間や、練習問題を解く時間をつかって、学習内容が定着していない児童への支援を続けていく。タブレット端末を用いて、その子の定着度に応じた練習問題を解く時間をつくり、九九などの計算練習や、平仮名、片仮名、漢字、英語などの練習も自分で進めていけるようにしていく。

II あいさつとあたたかな言葉があふれる学校をめざす について

- 1. 【児童】 ④友達となかよく生活をしていますか。96.7%
⑦「おはようございます」「ありがとう」などその場にあった挨拶ができていますか。88.9%
【保護者】 ③おさんは、友達となかよく生活をしている。94.5%
②おさんは、挨拶や正しい言葉づかいができ、思いやり、感謝の心などが育ってきている。88.9%
⑧学校は相手を思いやるやさしさ等の道徳性を培い、命を大切にする心を育てている。93.6%

<考察>

どの学年もほぼ同じ割合で友達と仲よく過ごしている。3年生については、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と回答した児童は0人だった。学校のよいところについての自由記述には、「友達」「みんな」という言葉が多く出てきていて、友達関係が子どもの生活には大きく影響することが分かる。

挨拶については、昨年よりも挨拶ができるようになってきている感覚は見られるが、4年生、6年生については80%台となり、できていないと感じている。

日頃から教室での挨拶を大事にし、校内などでも進んで教職員が挨拶をする姿を見せていく。また、地

域の方への挨拶についてもしっかり指導をし、気持ちのよい天王小の児童となれるように粘り強く取り組んでいく。委員会の取組などで「あいさつ運動」などを行い、学校全体で意識を向上させていきたい。

さらに、道徳を中心に各教科、行事などを通し、思いやりや命を大切にする姿勢を育てていく。

Ⅲ 基盤となる安心・安全・健康を大切にする について

- 1 【児童】⑥病気やけがをしないように気を付けて生活していますか。92%
【保護者】⑤お子さんは、病気やけがをしないように気をつけて生活している。89.4%

<考察>

高学年については、肯定的な回答の割合が低くなり、80%台になっている。客観的に物事を捉え、自分たちの生活をしっかり見られていることの表れでもあるが、分かっている行動に移すことのできない弱さも見られる。授業や特別活動など、機に応じて考えさせる場をつくり、行動に移していけるようにしたい。特に通学班での安全については、高学年に自覚をもたせるだけでなく、一人一人が安全に登校できるような意識付けができるようにしたい。1年生の交通安全教室を充実させ、低学年から自覚をもって登校できるようにする。

地域の方にご協力いただいている部分に目を向けさせ、感謝の気持ちをもたせる。地域へも見守りの呼びかけを継続していきたい。

トイレ掃除についてもご指摘がありました。普段から「みんなが使うところ」として声かけをし、きれいに整っているトイレもあります。今後も粘り強く働きかけ、きれいなトイレを目指していきます。

Ⅳ 地域・家庭に積極的に情報を発信し、連携を強化する について

- 【保護者】⑨学校は、通信やホームページなどで学校の様子をよく知らせている。87.4%

<考察>

校長が毎日ホームページを更新している。楽しみに見てくれている保護者も多い。これからも継続していくことで学校の様子を地域の方にも知っていただく材料としたい。90%以上の割合にならなかった理由として、学級通信の有無が挙げられる。学級通信を出してほしいという要望が自由記述の中にもあったが、全ての担任が学級通信を発行するのは、業務的にも難しい。学年便りの数を増やしたり、学年便りを見やすくしたり、なるべく早く出したりの工夫をしながら対応したい。今後はできるだけ絆ネットを使い、必要なことは素早く伝えられるようにしていきたい。

Ⅴ 働き方を改善し、より生き生きとした先生を増やす について

- 【教職員】⑨働き方のリズムをつくり、在校時間を短縮することができたか。65.7%
⑩専科による授業を活用し、授業の質の向上と担任の負担軽減を両立することができたか。71.5%
⑰校務支援システムの活用を図り、事務効率をあげている。85.7%

<考察>

⑨については、昨年度から31.7%減となっている。⑩の専科による負担軽減については、5.9%増、⑰の事務効率については、5%減となっている。専科による負担軽減についてはポイント数として上がっていて、昨年度と日課は変わらず、部活動がなくなったにも関わらず、在校時間の短縮に結びついていないと感じている教職員がかなり増えている。

実際、在校時間を比較すると、昨年度よりは時間外勤務者の数は減っている。在校時間が増えていると感じてしまうような多忙感が否めない。自由記述から「理由は分かるが人員的に厳しい」「補欠や専科の人が足りない」「空き時間が足りない」「結局、仕事を持ち帰っている」等の意見がある。育休をはじめとする多様な働き方により多くの方が不在となる。その分の人員が確保されなければ、誰かが仕事を請け負うことになるため、多忙感は払拭されない。次年度は、四月当初と木曜日はすべて5時間にしたり、少年の主張大会をやめたりするなど、時間の確保をさらに進めていく。また、学年主任や各主任を中心にチームとして、行事、学習などを計画的に進めるなどしていきたい。人員確保についても、市教委に常に要望をし

ていくようにしたい。

その他

教職員のアンケートの中で、「楽しさを大切にしたい全員が参加し、みんなで深め合う授業」や「子どもの理解に努め、居場所のある学級」「安全点検、安全指導」について、昨年度より評価が高くなっている。これは、保護者も児童も同じ傾向にあり、学習面についての評価が全体的に高くなっている。評価が下がっているのは、「地域や家庭との連携」「情報発信」「挨拶」についてである。

コミュニティスクールが始まったので、家庭や学校だけで完結するのではなく、地域の力を借りられる部分は積極的に関わられるようにしたい。特に学習支援、登下校の見守りについては引き続き、ボランティアの力を借りていきたい。挨拶についても外部との会議などで話題にし、地域からの発信もお願いしていきたい。

保護者からの自由記述の中に「通学団でのトラブルに困っている」があげられた。現在、下校時には教員が途中まで見守ったり、何かあったときには臨時で通学班を集めたりして対応している。今後も、家庭、地域と情報共有しながら、指導にあたっていきたい。

教員によっては口調が厳しい場面があるとの指摘もあった。学年の発達段階に応じ対応できるよう、教員自身も研鑽を積み、学年を中心に学校全体で子どもを見て、育てていくという意識で教育にあたりたい。

全体的には、保護者の方からは多くの励ましやねぎらいの言葉をいただきました。子どもたちも「学校は楽しい」「授業は楽しい」と肯定的な意見がほとんどでした。子どもの成長を願い、教職員一同、協力しながら学校運営に携わっていきたいと思います。